

---

---

# いちい

---

---

No.53

令和2年9月1日



**NHK** 北海道旧友会

# 目 次

・ 会長あいさつ	北海道旧友会会長 道川 忠俊	2
・ 局長あいさつ	NHK札幌拠点放送局長 梅岡 宏	4
・ 役員名簿		7
・ どうぞよろしく 新会員		8
・ 物 故 者		9
・ 令和元年度賀寿祝該当者		10
・ 短 信		11
・ 随 想 小山 巖さん		51
・ NHKネットワークフロムOB	橋本 昌世さん	55
・ 旭友会忘年会		56
・ NHK人事異動		57
・ NHK北海道の取り組み		58
・ 安否確認連絡要領・連絡網		66
・ NHK札幌拠点放送局からのお願い		68
・ 事務局だより		70
・ 賛助広告		

## ごあいさつ

北海道旧友会会長 **道川 忠俊**



北海道旧友会会員の皆様、世界を揺るがすコロナウイルスが蔓延するなかでも、お元気にお過ごしのことと拝察いたします。

本来は、総会の席で直接ご挨拶申し上げるところですが、コロナウイルス感染は高齢者に重症者が多発する特徴があることから、感染の危険を避けるため今年度の総会・懇親会を中止しました。

東京での全国会長会議や事務局長会議は中止、月1回程度開催している北海道旧友会の役員会も持ち回り会議に変更しています。

この様な大混乱が各国で同時多発的に起こるのは、第三次世界戦争くらいかなと考えていました。HIVやエボラ出血熱など危険な感染症は沢山ありますが、一部の地域に限定され特殊な行動の結果もたらされるもので、私達の日常生活からはほど遠い存在と思っていました。

しかし、人類は世界中で土地開発を進め、これまで接触の機会が稀だった微生物や動物に日常的に接触しています。また温暖化の影響で凍結されていた土壌から病原体が解凍され、再び活動を始めています。今後、未知の病原体と遭遇することは回避できず、新たな感染症に見

舞われる危険性が一層増しています。対応していく人類の英知が試されているかのようです。

私は「中国でコロナ感染者・犠牲者増加」の報に接したとき、今年の雪まつりは危険だと感じ会場に行きませんでした。後になってみると賢明な判断だったようです。

コロナ禍の日常生活で気になったことがあります。「マスク着用」と「社会的距離」です。どちらもワクチンが無く治療法も確立されていない今、感染防止のためやむを得ず取っている行動です。日本では春先になると花粉症のためマスクを着用する人が増えてきましたが、今はほぼ全ての人が着用しています。

私はマスクで顔が覆われた話し相手の表情が判らず、混乱することがしばしばありました。目の動きだけで表情を判断することが難しく、これまでは口元の表情、目や手の動きなどを見て、かつ声を聴くことで総合的に相手の意思を判断していたことに改めて気付かされました。マスクを着用する人が増えることは、私達にとって混乱が一層増すことになりそうです。

「社会的距離」は言葉自体が曖昧です。「感染防止距離」が良いのではないのでしょうか。子供たちが成長の過程で「社会的距離」を保つことを当然なことと感じるようになる、その後の人間形成や社会常識の育成に大きな影響を与えるのではと危惧します。距離確保はあくまでも



感染を防ぐための非常手段です。

もちろん大人の意識変化にも同様のことが云えます。

「社会的距離」確保活動が満員電車通勤・通学の改善・解消に役立つなら多少は我慢しますが、満員電車を放置したままの現政権には期待ができません。

コロナ感染ははまだ終息の兆しが見えません。来年には1年延期されたオリンピック開催が控えています。悲観的な見方をする人が増えてきています。確かに例え日本が感染克服に成功したとしても、世界各国の状況が整っていないれば開催することが難しいでしょう。

現状では日本の感染病対策に疑問を持たざるを得ません。社会活動を継続しながら感染病に対応していくための方策が見えてきません。日本は法による外出規制ではなく外出自粛要請のみで世界各国を驚かしましたが、ひとたび自粛要請が緩むと瞬く間に感染が拡大してしまいました。東アジアの人達には何らかの抵抗力があるようにも思えますが、ひとたびウイルスが変異した場合はその優位性は覆されます。そうならないことを祈るのみです。

経済的にみればグローバル経済の脆弱性が明らかになりました。各国が自国民の生活を守る最低限の生産・医療体制を保持していなければ壊滅的な状況に陥ります。

医療品がその最たる例です。医療関係者が使用する資材が充当出来なかつたことは、医療体制が崩壊していた

ことを示しています。医療従事者の献身的な努力により何とか治療が行われているのです。

世界各国がマスクをはじめ医療品の生産を中国に依存し、自国生産や様々な国々に分散しなかつたため瞬間に枯渇してしまいました。それはコスト主義が全てに優先した結果です。この考え方を変えない限り同じような事態となります。残念ながら国は改善議論を拒否しているとしか思えない態度です。嘆かわしい限りです。

さて北海道旧友会は会員皆様さんのご助力にも拘わらず、会員数が漸減しています。会員の方々の高齢化と新規会員の加入減少が影響しています。お互いに切磋琢磨しながら、それぞれの仕事に自負を持ってきた仲間でも加入して頂けないこともあります。至極残念な気持ちです。今後一人でも多くの方に入会して頂けるよう働きかけをしてまいります。皆さんからも強力な勧誘をお願いします。

お願いや苦言が多くなつてしまいましたが、これは来年こそ皆さんと共に元気に旧友会総会を迎えたいと思う一念からです。これからも感染克服のために様々な要請があるでしょう。ストレスは強まるばかりですが、明るい将来を見据えて努力してまいります。

是非お体をご自愛されますことと、来年の総会でお元氣にお目に掛かれることを祈念致しまして筆を置きます。